

地 域 連 携

はびきの Medical Net

Vol.15

August.2025



地方独立行政法人大阪府立病院機構
大阪はびきの医療センター

Osaka Habikino Medical Center



* FUTURE 乳腺外科

「乳がん診療の最近のトレンド」
～最近の乳がん薬物治療法について～

- * Pick up
- * セミナーのご案内
- * 学会報告
- * はびきのパーソン
- * 地域連携NEWS
- * 連携医療機関のご紹介

大阪府がん診療推進病院の認定
「第32回医療でつなぐ地域連携ネットワーク SOCC」他
「第65回 日本呼吸器学会学術講演会」他
看護部 医療技術部
アレルギー・リウマチ内科「総合力で挑む免疫疾患診療」
こもりクリニックさま 医療法人船内クリニックさま



乳がん診療の 最近のトレンド



～最近の乳がん薬物療法について～

日本人女性の乳がんは年々増加しており、日本人女性の乳がん罹患数は2021年予測で94,400人となっており、いまや、9人に1人が乳がんになる時代です。

乳がん罹患率は30代後半から急増しており、比較的若い世代の女性に多く、仕事、育児、家事など、最も忙しい世代の女性に増えている病気ですが、乳がんは早期に発見すれば治りやすい病気でもあります。

乳がん治療では、乳がんの根治、再発リスクを軽減、症状の改善を目指して、手術、放射線療法、薬物療法（ホルモン療法、化学療法、分子標的療法など）を組み合わせた治療を行います。

特に薬物療法では、ホルモン受容体やHER2受容体の発現状況をもとに、HER2陽性、ホルモン受容体陽性、トリプルネガティブ乳がんといったサブタイプに分類され、様々な薬剤による治療が行われています。

1) HER2陽性乳がん

従来の治療に加え、**抗HER2抗体療法**（ハーセプチン、パージェタ）が標準治療として確立されており、これにより予後が大幅に改善しています。最近では、**抗体薬物複合体**（ADC）と呼ばれる治療法が注目され、エンハーツやトロデルビなどの薬剤は使用できるようになり、従来の治療が効かない患者にも効果が期待されています。



乳腺外科 主任部長

あづみ

安積

たつや

達也

【経歴・資格など】

平成10年近畿大学卒。近畿大学医学部、PL病院、南堺病院を経て、平成29年より当センター勤務。平成30年より現職。

乳がんや乳腺腫瘍などの乳腺疾患や甲状腺腫瘍を専門としている。

日本外科学会外科専門医、日本がん治療認定医機構認定医、日本乳癌学会乳腺専門医、検診マンモグラフィー読影医

FUTURE

今後の医療を見据えて

2) ホルモン受容体陽性乳がん

ホルモン療法が基本ですが、近年はこれに加えて、[CDK4/6阻害薬](#)が登場しました。ホルモン療法との併用により、腫瘍の増殖抑制効果が高いとされており、特に進行性乳がんや再発乳がんの治療において使用される機会が増加しています。本邦ではイブランスとベージェニオの2剤が使用されています。また、特定の遺伝子変異（PIK3CA、AKT1、PTEN）を持つ患者さんに対しては[AKT阻害剤](#)（トルカプ）による治療も行われています。また、このサブタイプの乳がんに対しても[抗体薬物複合体](#)（ADC）による治療法行われるようになり、エンハーツやダトロウェイの投与により従来の治療が効かない患者にも効果が期待されています。

3) トリプルネガティブ乳がん

トリプルネガティブ乳がんは、ホルモン受容体もHER2も発現していないタイプの乳がん、これまで使用できる薬剤も限られていました。様々な癌腫で使用されるようになった[免疫チェックポイント阻害薬](#)も、トリプルネガティブ乳がんで使用できるようになり、アテゾリズマブやペンブロリズマブを含んだレジメンにて治療が行われるようになっています。また、エンハーツやトロデルビなどの[抗体薬物複合体](#)（ADC）による治療法も行われています。新しい薬剤の登場により、薬物治療における治療選択肢が増えてきております。遺伝情報、腫瘍の特性、患者の生活環境などに基づいた最適な治療（個別化医療）を引き続きすすめていきたいと思います。



Pick UP

大阪府がん診療推進病院



大阪府がん診療推進病院の認定を受けました！

当センターは、これまで「大阪府がん診療拠点病院(肺がん)」として地域のがん医療に取り組んできましたが、2025年4月より、大阪府による新たながん医療体制の見直しに伴い、これまでの肺がんだけではなく、胃がん、大腸がんおよび乳がんについての診療実績が認められ「大阪府がん診療推進病院」として、改めて認定されました。

今年度は、肝胆膵の専門医が赴任し、肝がんにも対応できるようになりました。今後も、南河内地域のがん医療を担い、患者さんが安心して治療を受けられる体制づくりをさらに強化してまいります。



大阪府がん診療推進病院とは

大阪府がん診療推進病院とは、専門的ながん診療機能の充実とがん医療水準の向上を図ることを目的として大阪府が創設している制度に基づくものであり、肺がん、胃がん、肝がん、大腸がん及び乳がんのうち4がん並びにその他各医療機関が専門とするがんについて診療機能を有する病院として、診療体制や診療機能等についての審査を経て、指定されるものです。



外来化学療法室



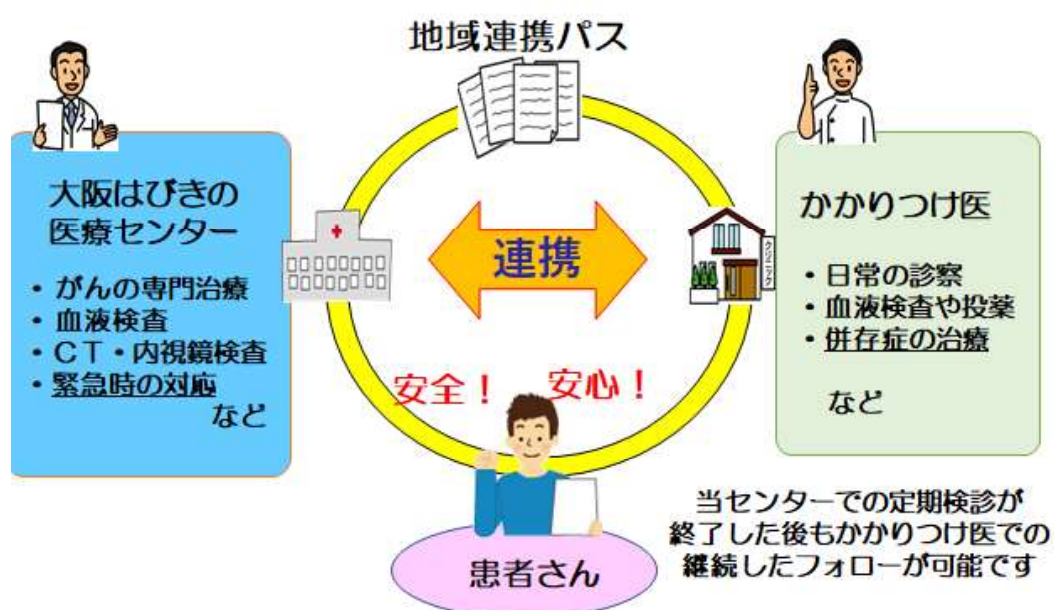
がん地域連携パスの運用を開始しました



がん医療における地域連携のさらなる強化を目的に、当センターでは「がん地域連携パス」の運用を新たに開始いたしました。

がん地域連携パスとは、病気ごとの治療計画表を作成し、専門的な治療を行う病院（当センター）とかかりつけ医（連携医療機関）が病院の機能に応じて役割分担することで、患者さんの状態を総合的に管理することを目指した仕組みです。

診療情報を共有しながら、病院と地域が役割を分担することで、患者さんが安心して治療を継続できる環境を整備してまいります。



募集中!

「地域連携パス」にご参加頂ける医療機関を募集中です!

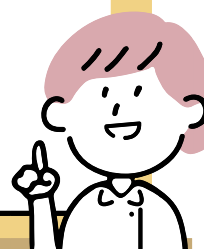
お申込・詳細については、地域医療連携室にご連絡をお願いします。

大阪はびきの医療センター 地域医療連携室

☎ 072-957-2121 (代表)

072-957-8030 (直通)

受付時間: 平日9:00-17:30



セミナー情報

開催予定

第32回医療でつなぐ 地域連携ネットワーク SOCC

- 【日 時】2025年9月13日（土）
17:00～19:20
【会 場】TKPガーデンシティPREMIUM 心斎橋 3階
【内 容】
《教育講演》
「病診連携による骨粗鬆症骨折患者の二次骨折予防」
整形外科 主任部長 西井 孝
「災害医療における在宅診療について」
大阪急性期・総合医療センター高度救命救急センター
センター長 藤見 聡 先生
《特別講演》
「呼吸不全に挑む肺移植医療」
大阪大学大学院医学系研究科 呼吸器外科学
教授 新谷 康 先生
【会 費】1,000円 ※当日はクールビズでお越しください
【共 催】柏原市医師会、羽曳野市医師会、藤井寺市医師会、
松原市医師会、大阪狭山市医師会、富田林医師会、
河内長野市医師会、帝人ヘルスケア株式会社、
大阪はびきの医療センター

※当該施設には駐車場がございません。お越しの際は公共交通機関をご利用ください。
※本公演会は、大阪府医師会生涯研修システムに認定申請しております。
※本会終了後、情報交換会を予定しております。
※お申込みについては、同封チラシ裏面のFAX返信票にてお願い致します。

はびきのDチャンネル episode25

- 【日 時】2025年9月18日（木）14:00～15:00
【会 場】WEB開催（ZOOM）
【内 容】大阪はびきの医療センター皮膚科地域連携カンファランス【プライマリケアにおける皮膚科診療のTips】
※詳細については、決定次第、当センターHPの【お知らせ】に告知させていただきます。

栄養士のための大阪食物アレルギー 研究会

- 【日 時】2025年8月2日（土）
13:50～16:30
【会 場】エル・おおさか（大阪府立労働センター）6階
【参加費】無料
【内 容】
《講演》
「OFADってなに？現場から発信する食物アレルギー対応～OFAD10年の歩み～」
大阪市立滝川小学校 旭 雅美 先生
《特別講演》
「宿泊施設の食物アレルギー対応～ご家族と施設の視点から～」
別府大学食物学科 教授 高松 伸枝 先生
《質疑応答》
別府大学食物学科 教授 高松 伸枝 先生
小児科 主任部長 亀田 誠
栄養管理室 管理栄養士 中村 祥子
※詳細、お申込みについては、右記QRコードよりご確認をお願い致します。



開催しました

はびきやま産婦人科セミナー

- 【日 時】2025年6月11日（木）
【会 場】大阪はびきの医療センター 講堂B
【内 容】「周産期の最近のトピックス」
産婦人科 医員 中谷 沙也佳
「挙児希望のある子宮内膜症の患者の治療略」
奈良県立医科大学 産婦人科学講座
教授 木村 文則先生
【参加者】51名（院内職員含む）

CKD地域連携セミナー inはびきの

- 【日 時】2025年6月7日（土）
【会 場】大阪はびきの医療センター 講堂
【内 容】「腎生検だけじゃない！専門医への紹介で変わる腎疾患の予後」
腎臓内科 主任部長 飯尾 麗
「CKD診療が見据える未来～生命予後改善への挑戦～」
岡崎市民病院腎臓内科部長 朝田 啓明先生
【参加者】30名

学会報告

当センターでは、研究、学会発表、論文報告を積極的に行っており、今後とも最新の知見を発信し続けます

第65回 日本呼吸器学会学術講演会

会期：2025年4月11日（金）～4月13日（日）

会場：東京国際フォーラム

- 一般演題：「EGFR遺伝子変異陽性非小細胞肺癌に対するオシメルチニブの有効性：十分な観察期間を確保した実臨床における単施設後ろ向き研究」
発表者：呼吸器内科 医員 小牟田 里以子



初めての呼吸器学会総会での発表で緊張しましたが、周りの先生方に教えて頂きながら準備をして、無事発表することができました。

第124回 日本皮膚科学会総会

会期：2025年5月29日（木）～6月7日（土）

会場：パシフィコ横浜

- 一般演題：「中等症・重症成人アトピー性皮膚炎患者の重症度の季節変動に対するDupilumabの治療効果」
代表発表者：皮膚科 主任部長 片岡 葉子
- スポンサードシンポジウム：「治療ゴールをめざしたアトピー性皮膚炎の治療：長期寛解維持の意義と方法」
発表者：皮膚科 主任部長 片岡葉子
- 教育講演：「これでいいのか アトピー性皮膚炎診療」
Common chronic inflammatory disease アトピー性皮膚炎に臨む皮膚科専門医の倫理と論理
発表者：皮膚科 主任部長 片岡 葉子



第100回 日本結核・非結核性抗酸菌症学会学術講演会

会期：2025年6月6日（金）～6月7日（土）

会場：パシフィコ横浜

- 演題：「結核診療にRIF耐性遺伝子変異検査を導入した効果と課題」
発表者：臨床検査科 主任部長 田村 嘉孝
- 演題：「肺非結核性抗酸菌症患者の喀痰検査から分離された新種と思われる Mycobacterium sp.の一例」
発表者：感染症内科 医員 前田 恭兵
- 演題：「多剤耐性肺結核治療中に薬剤性QT延長症候群による心停止を来した1例」
「当院における2剤併用療法による潜在性結核感染症（LTBI）治療の現状」
発表者：感染症内科 医員 永井 裕太



当院にて先進的に実施している薬剤耐性遺伝子検査、および2剤併用予防療法について発表しました。（田村医師、永井医師）
また、当院にて発見された新種の抗酸菌についての報告（前田医師）、
そして稀ですが重要な副作用についての症例報告（永井医師）を行いました。

第70回 日本透析医学会学術集会

会期：2025年6月22日（土）

会場：リーガロイヤルホテル大阪

- ANCA2セッション
口演（症例報告）
腎臓内科 主任部長 飯尾 麗



ピックアップ

～ 当センターのスタッフを紹介します ～

はびきのパーソン

当センターでは、個性豊かなスタッフがそれぞれのセクションで明るく頑張っています！
少しでも当センターのスタッフに親しみを持っていただけると幸いです

看護部 4Aたちばな病棟
看護師

あ お き

ゆ い こ

青木 悠唯子

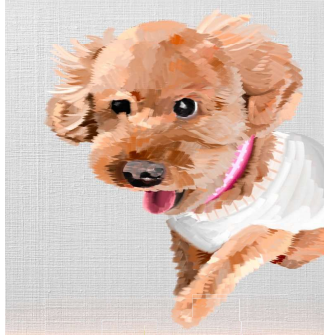


幸福は犬の形をしている

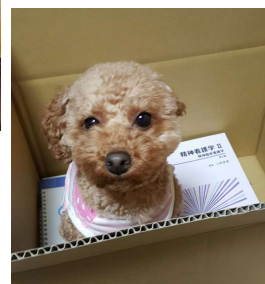
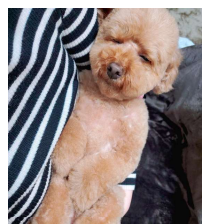
学生時代、実家にいた時にやってきた犬がいます。
トイプードルの女の子、名前はコナといいます。実家の犬たちは全員茶色の食べ物の名前がついており、その法則に乗っ取ってコナコーヒーから名付けました。
ありがたいことに私に一番懐いてくれており、羽曳野市へと引っ越す時に意気揚々と段ボールの中に入ってきた時のことを今でも覚えています。
就職しペット可のマンションに引っ越して犬を引き取ってからずっと、犬と人間の2人暮らしです。
私が寝ている時は大人しくベッドのすみで寝てくれているのですが、人間が起きた時にしっぽを振ってぴょんと上に乗り顔を覗いてくれる、その瞬間がとっても幸せです。
仕事でお留守番させることが多く、その分休日などは一緒に過ごしています。
散歩に出たと思えばすぐ抱っこをせがんだり、洗濯を干している時は靴下を追いかけて回り、料理をしている時はおこぼれ狙いでおすわり待機をしていたりと、ずっと見ていて飽きない大切な家族です。



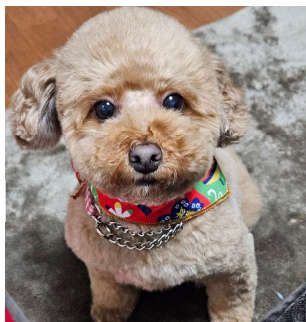
犬が好きすぎて肖像画を描きます



犬パンも作ります



引っ越し段ボールに



思い出の写真たち

医療技術部 臨床検査科
技師

たかみね

高嶺 かおり

#パクパク万博

臨床検査科の高嶺と申します。

皆様、大阪万博には行かれたか。私は4月に初めて万博に行き、その雰囲気魅了されてすぐに通期パスを購入しました。各国のパビリオンやショーも新鮮で楽しいですが、特に私は各国の料理を食べることを一番の楽しみに会場を巡っています。

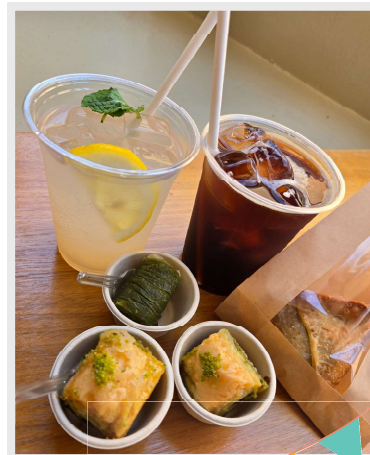
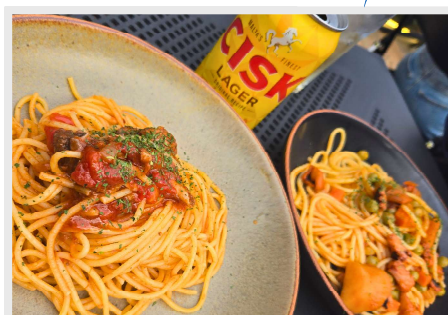
中でも、私が良かったと思うのはヨルダン館、サウジアラビア館などの中東で飲まれているコーヒーです。カルダモンというスパイスが入っており、今まで飲んだことのない味で新鮮でした。一緒に食べるデーツやバクラヴァというスイーツも甘くて美味しかったです。中東に旅行に行くことはほぼないと思うので、経験できていい思い出になりました。

また、オーストラリア館ではワニ肉を挟んだパン、マルタ館ではウサギの肉の Pasta も食べました。日本では珍しい食材ばかりで、どれもおいしかったです。

まだまだ万博料理制覇ができてないので、最後の最後まで楽しみつくそうと思います。



思い出の写真たち



地域医療連携 NEWS



アレルギー・リウマチ内科 主任部長 まつのおさむ 松野 治



総合力で挑む免疫疾患診療

アレルギー・リウマチ内科では、喘息を中心としたアレルギー疾患と、膠原病・リウマチ疾患の両輪で診療を展開しています。特にアレルギー性気管支肺アスペルギルス症や好酸球性多発血管炎性肉芽腫症など、専門性の高い疾患にも対応し、診断から治療まで内科的に一貫した管理を行っています。

加えて、ここ5年ほどは関節リウマチやリウマチ性多発筋痛症、全身性エリテマトーデス、シェーグレン症候群など、全身性自己免疫疾患への対応にも力を入れており、呼吸器内科、腎臓内科、皮膚科、耳鼻咽喉・頭頸部外科など他診療科との連携体制が強みです。

治療の進歩により、従来の対症療法から、炎症の根本制御をめざす生物学的製剤などの分子標的治療へと移行が進んでいます。当科でもこの流れに即し、最新の知見を取り入れながら、安全で効果的な治療を実践しています。

また、喘息患者には看護師・薬剤師と連携した吸入指導を徹底し、リウマチ患者にはリウマチケア看護師によるサポート体制を整えています。さらに、当院は免疫疾患と就労・就学の両立支援のモデル医療機関として、働き世代にも寄り添う医療を展開中です。

アレルギーとリウマチ、異なる領域に見えて実は密接に関わる免疫の病。今後も“総合力”で地域医療に貢献してまいります。

【経歴・資格など】

平成5年大分医科大学卒。大分大学医学附属病院、大阪南医療センターを経て平成19年より当センター赴任。令和5年より現職。

喘息等のアレルギー疾患を専門としている。

内科学会総合内科専門医、アレルギー学会専門医・指導医、呼吸器学科専門医・指導医、医学博士

当センターの
アレルギー・リウマチ内科の
詳細はこちらより確認できます。



連携医療機関（登録医）のご紹介

こもりクリニック

院長 小森 和彦 先生
副院長 小森 千佳 先生

〒547-0021 大阪府大阪市平野区喜連東1-8-46
電話 06-6105-2560
URL <https://komori-clinic.com>



大阪市平野区喜連東にあります、こもりクリニックです。2017年に開業、泌尿器科・呼吸器内科・一般内科の診療を行っており、泌尿器科専門医の院長と呼吸器専門医・総合内科専門医の副院長との2診制です。当院から大阪はびきの医療センターに患者様をご紹介させていただくことも多く、これからも密に連携をとりながら地域の皆様にお役に立てますように頑張っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
9:00～12:00	○	○		○	○	○	/
14:00～16:00	★	★	/	★	/	●	/
16:00～19:00	○	○	/	○	○	/	/

14:00～16:00は予約診：★月火木は特殊検査・予防接種、●土は男性不妊外来
16:00～19:00の副院長の診察は、火木のみ



医療法人 船内クリニック

院長 船内 洋司 先生
副院長 船内 祐樹 先生

〒583-0024 大阪府藤井寺市藤井寺1-9-8
電話 072-955-0678
URL <https://www.funauchi.org>



当院は昭和32年船内産婦人科として藤井寺駅前に開業いたしました。昭和35年には現在の場所に移転し、長年にわたり地域の女性の健康を支えてまいりました。令和6年からは院長・副院長の2名体制となり、産婦人科専門医による妊婦・女性診療から、小児科・内科（漢方処方可）と、様々な年代・年齢の患者様へ幅広く対応しています。今後も、新たな見地を取り入れながら、「安心」と「来てよかった」を感じていただける、地域に根ざした診療を行ってまいります。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
9:00～12:00	○	○	/	○	○	○	/
17:00～19:00	○	○	/	○	○	/	/

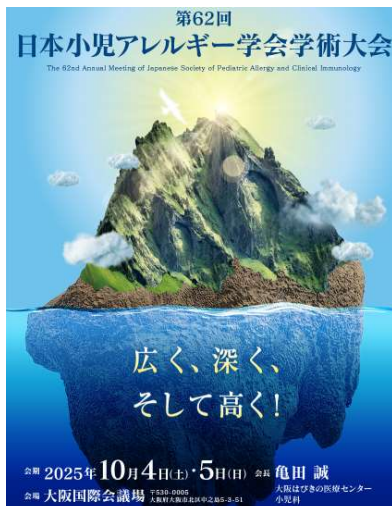


◆登録医へのご登録のお願い◆



当センターは地域医療支援病院として、地域の医療機関と当センターが協力のもと相互の機能を有効に活用し、医療連携を深め広げることにより、地域全体として患者さんにとってより質の高い医療を提供していくことを目的に登録医制度を実施しています。

ぜひ登録をお願いいたします。



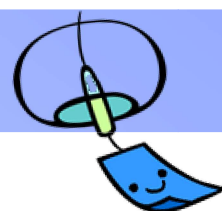
第62回日本小児アレルギー学会学術大会の会頭に 小児科 主任部長 亀田 誠医師が選出されました！

この度、当センター小児科 主任部長 亀田医師が会頭となり、第62回日本小児アレルギー学会学術大会が令和7年10月4日、5日に大阪国際会議場で開催されることとなりました！

参加希望の方は、右のQRコードを読み込み後、「受講登録」よりご登録をお願い致します。
(現在準備中です。今しばらくお待ちください。)



地域医療連携室より



◆事前に予約をお取りください

- ▶ 紹介状があっても予約がない場合は、待ち時間が長くなることや当日の受診ができない場合もあります。
- ▶ **呼吸器内科、肺腫瘍内科、アレルギー・リウマチ内科（松野医師のみ）、消化器内科**は、**完全予約制**となっております。
必ず地域医療連携室を通してご予約をお取りくださいますようお願いいたします。
- ▶ **当日の緊急受診**が必要な患者様におきましては、できる限りお受け入れできるよう調整いたしますので、**地域医療連携室にご連絡いただけますようお願いいたします。**
- ▶ **オンライン予約システム（C@RNA Connect）**をご利用ください
(事前に申し込みが必要です)。詳しくはホームページまたは地域医療連携室にお問い合わせください

地域医療支援病院として紹介・逆紹介をさらに推進してまいります

私達は、最新の医療水準で、最適な医療サービスを、思いやりの心をこめて提供します。



地方独立行政法人大阪府立病院機構

大阪はびきの医療センター

〒583-8588 大阪府羽曳野市はびきの3-7-1

TEL: 072-957-2121 (代表)

<院内診療科のご案内> (令和7年7月現在)

呼吸器内科、肺腫瘍内科、感染症内科、アレルギー・リウマチ内科、循環器内科、消化器内科、糖尿病・内分泌内科、腎臓内科、呼吸器外科、消化器外科、心臓血管外科、乳腺外科、産婦人科、小児科、皮膚科、耳鼻咽喉・頭頸部外科、泌尿器科、整形外科、眼科、歯科口腔外科、麻酔科(高内 裕司)、集中治療科、救急診療科、画像診断科、放射線治療科、臨床検査科、リハビリテーション科、緩和ケア科、外来化学療法科、病理診断科

